ホタテガイ増養殖安定化推進事業 ホタテガイ垂下養殖実態調査-Ⅱ (平成 30 年 10 月)

山内弘子・吉田達・秋田佳林・小泉慎太朗

目 的

陸奥湾におけるホタテガイの垂下養殖の実態を把握し、適正養殖を推進することを目的に、昭和 52 年 10 月以降、春秋の 2 回実施している調査のうち、平成 30 年 10 月に行われた秋季調査結果を報告する。また、北海道の噴火湾で養殖ホタテガイに大量に付着し、漁業被害を及ぼしているヨーロッパザラボヤ ¹⁾について、陸奥湾での生息状況を調査する。

方 法

1. 養殖貝成育状況調查

平成30年10月15日から19日にかけて陸奥湾沿岸にある10漁業協同組合および12支所のホタテガイ養殖経営体から約5%に相当する54経営体を無作為に抽出し、前年産貝である平成29年産貝と稚貝である平成30年産貝を対象に、各経営体の延縄式ホタテガイ養殖施設2ヶ統から垂下された養殖資材(図1、表1、2)を各1連採取するとともに、各養殖施設で隣接して垂下されている2連を無作為に1箇所抽出し、その連間隔を測定した。

採取した1連分の平成29年産貝について、へい死貝の割合を求めるとともに、生存貝から無作為に抽出した50個体について異常貝の有無を目視観察し、さらに20個体について殻長、全重量、軟体部重量を測定した。採取した1連分の平成30年産貝のうち、分散済みの稚貝は全段、未分散の稚貝は最上部の1段、中間部の1段、最下部の1段の計3段分の貝について、へい死貝の割合を求めるとともに、生存貝から無作為に抽出した50個体について異常貝の有無を目視観察し、さらに20個体について殻長と全重量を測定した。異常貝は、小谷ら20の方法に従って計数した。また、養殖資材1連に収容された貝の個体数と連間隔の値から、養殖施設の幹網1m当りの収容密度を求めた。以上の結果を昭和60年度から平成29年度までの過去33年間の平均値(以下、平年値と称す)と比較した。

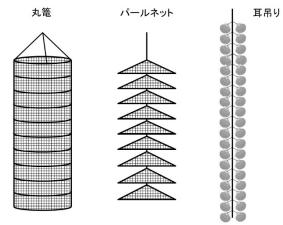


図 1. 養殖資材の模式図

表 1. 平成 29 年産養殖貝における養殖資材別の調査連数

養殖資材	調査連数	
パールネット	5	(6)
耳吊り	18	(15)
丸篭	9	(12)
合計	32	(33)

※()内は前年度

表 2. 平成 30 年産稚貝における収容稚貝別の パールネットの調査連数

調査連	数
43	(49)
64	(54)
107	(103)
	43 64

※()内は前年度

ヨーロッパザラボヤは、丸篭およびパールネットでは養殖資材1連分のうち中央部の1段分について、 資材と収容された養殖貝に付着した個体数を計数し、耳吊りでは養殖資材1連分のうち、中央部に吊され た養殖貝10段分計20個体に付着した個体数を計数した。

2. 養殖数量調查

平成30年10月に、陸奥湾で養殖されているホタテガイの個体数を把握するため、陸奥湾の全ホタテガ

イ養殖経営体から、平成30年10月1日における平成29年産の養殖ホタテガイについて販売済み数量と養殖方法別保有数量を、平成30年産ホタテガイ稚貝について利用計画別の保有数量を聞き取りした。

結 果

- 1. 養殖貝成育状況調查
- (1) 前年產貝 (平成 29 年產貝)

へい死率および異常貝出現率の推移を図 2 と付表 1-1 に、殻長と全重量の推移を図 3 に、幹綱 1m当りの収容密度の推移を図 4 に、調査結果を付表 2-1~2-3 に示した。また、付表 3-1~3-4 には昭和 60 年以降の養殖方法別による結果の推移を示した。

① 平成29年産貝のへい死率および異常貝出現率

へい死率の全湾平均は23.1%と平年値13.8%を上回り、昭和60年以降6番目に高かった。

養殖方法別のへい死率は、パールネットが 17.0%と平年値 16.4%とほぼ同じく、耳吊りが 26.4%と平年値 15.3%に比べると高く、丸篭が 5.1%と平年値 6.6%に比べると低い値を示した。漁協および支所・養殖方法 別のへい死率を見ると平年値より高かったのは、青森市奥内、後潟のパールネットがそれぞれ 56.5%、35.7%、野辺地町、横浜町、平内町清水川の耳吊りがそれぞれ 28.4%、26.0%、18.6%、むつ市の丸篭が 12.0%であった。

異常貝出現率は、全湾平均が 9.7%と平年値 6.6を上回り、昭和 60年以降 7番目に高かった。

養殖方法別の異常貝出現率は、パールネットが 5.5% と平年値 6.1%よりやや低く、耳吊りが 10.7%と平年値 7.6%に比べると高く、丸篭が 5.2%と平年値 7.2%に比べると低い値を示し、耳吊りが昭和 60 年以降 8 番目に高かった。組合・養殖方法別の異常貝出現率を見ると平年値より高かったのは、青森市奥内のパールネットが 36.0%、むつ市の丸篭が 26.0%、野辺地町、平内町清水川、横浜町の耳吊りがそれぞれ 12.5%、12.0%、9.7%、むつ市のパールネットが 8.0%であった。

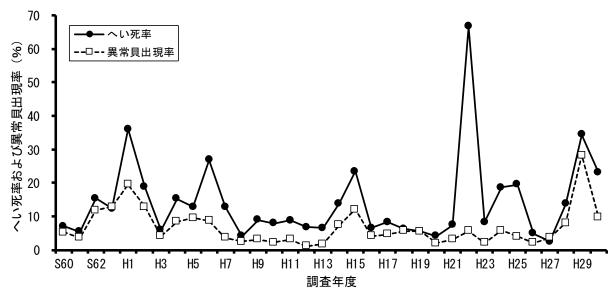


図 2. 前年産貝のへい死率および異常貝出現率の推移

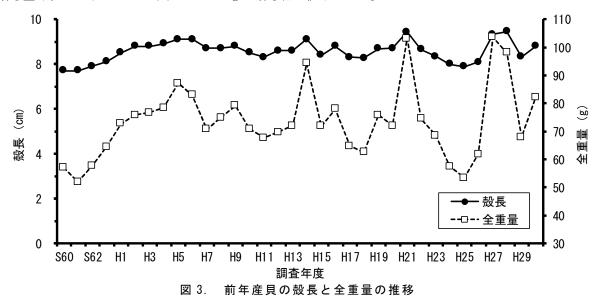
② 平成29年産貝の成長

殻長、軟体部指数の全湾平均値は、それぞれ $8.8 \, \mathrm{cm}$ 、 $34.5 \, \mathrm{c}$ とそれぞれの平年値 $8.6 \, \mathrm{cm}$ 、 $33.8 \, \mathrm{c}$ ほぼ同じであったが、全重量、軟体部重量はそれぞれ $82.0 \, \mathrm{g}$ 、 $28.3 \, \mathrm{g}$ とそれぞれの平年値 $73.2 \, \mathrm{g}$ 、 $25.6 \, \mathrm{g}$ よりやや高い値を示した。

養殖方法別の殼長、全重量、軟体部重量、軟体部指数の全湾平均値は、パールネットが殼長 8.5cm、全重量 64.1g、

軟体部重量 19.8g、軟体部指数 30.8、耳吊りが殼長 8.8cm、全重量 83.8g、軟体部重量 29.4g、軟体部指数 35.0、丸篭は殼長 8.6cm、全重量 76.2g、軟体部重量 24.5g、軟体部指数 32.2 という結果であった。平年値と比べると、パールネットが殼長を除き 4.7g、3.2g、1.8、丸篭の軟体部指数が 2.4 下回った。

漁協および支所・養殖方法別の殻長と軟体部重量は、後潟のパールネットがそれぞれ 9.8cm、35.1g と最も大きく、むつ市のパールネットがそれぞれ 7.0cm、10.5g と最も小さかった。全重量は野辺地町の耳吊りが 96.8g と最も重く、むつ市のパールネットが 36.1g と最も軽い値を示した。



③ 平成29年産貝の収容密度

連間隔の全湾平均値は 43.0cm と平年値と同じ値であった。

幹綱 1m 当りの収容密度の全湾平均値は 365 枚/m と、平年値 358 枚/m とほぼ同じであった。

養殖方法別の収容密度は、パールネットが 295 枚/m、耳吊りが 390 枚/m、丸篭が 238 枚/m と平年値の 379 枚/m、400 枚/m 、268 枚/m に比べそれぞれ 84 枚、10 枚、30 枚少なかった。漁協および支所・養殖方法別の収容密度が平年値を上回ったのは、パールネットでは青森市奥内の 840 枚/m、耳吊りでは平内町東田沢・清水川のそれぞれ 427 枚/m、425 枚/m、丸篭ではむつ市の 555 枚/m であった。

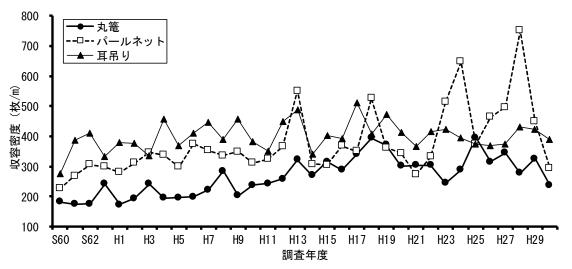


図 4. 前年産貝の幹綱 1m 当りの収容密度の推移

(2) 養殖用稚貝

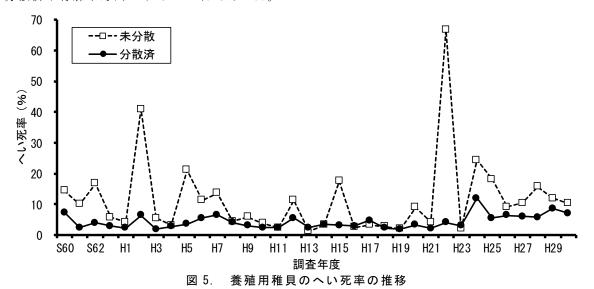
分散済み稚貝におけるへい死率および異常貝出現率の推移を付表 1-2 に、未分散および分散済稚貝のへ

い死率および異常貝出現率の推移を図 $5\sim6$ に、殻長と全重量の推移を図 $7\sim8$ に、幹綱 1m 当りの収容密度の推移を図 9 に、調査結果を付表 $4-1\sim4-3$ に示した。また、付表 5 には昭和 60 年以降の実態調査結果の推移を示した。

① 平成30年産貝のへい死率および異常貝出現率

へい死率の全湾平均値は、分散済みが 7.0%と平年値 4.3%に比べると 2.7 ポイント上回り、昭和 60 年以降 4 番目に高い値を示したが、未分散は 10.3%と平年値 11.2%に比べると 0.9 ポイント下回った。漁協および支 所別のへい死率が高い順に見ると、分散済みでは青森市野内が 29.2%、後潟が 18.0%、青森市油川・久栗坂 がそれぞれ 17.0%、13.3%、外ヶ浜町蟹田が 12.5%、青森市奥内・青森がそれぞれ 11.6%、10.1%と 10%を 超えた。未分散は青森市造道・青森がそれぞれ 35.8%、23.9%、川内町が 21.1%、青森市久栗坂・野内がそれぞれ 16.3%、14.6%、外ヶ浜町蟹田・平館がそれぞれ 12.1%、11.7%、青森市油川・奥内がそれぞれ 11.4%、11.0%と 10%を超え、西湾でへい死率が高い地区が多かった。

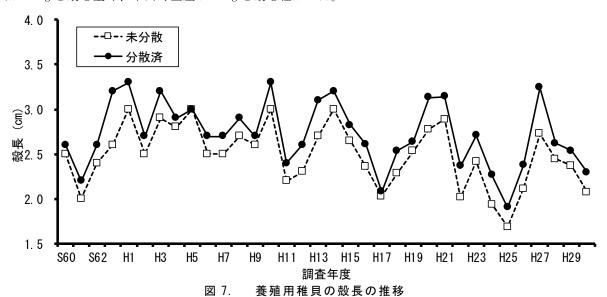
異常貝出現率の全湾平均値は、分散済みが 2.4%、未分散が 1.7% と、それぞれの平年値 3.3%、3.2% に比べそれぞれ 0.9 ポイント、1.5 ポイント下回った。漁協および支所別の異常貝出現率が 10% を超えたのは分散済み青森市野内のみで 18.0% であった。



20 **--□-**· 未分散 一分散済 15 % 異常貝出現率 10 5 0 S60 S62 H1 Н3 H5 H7 Н9 H11 H13 H15 H17 H19 H21 H23 H25 H27 H29 調査年度 図 6. 養殖用稚貝の異常貝出現率の推移

② 平成30年産貝の成長

漁協および支所別の殻長については、分散済みでは青森市造道が 3.0 cm と最も大きく、蓬田村、後潟が 1.8 cm と最も小さく、未分散では野辺地町が 2.7 cm と最も大きく、蓬田村、平内町土屋が 1.8 cm と最も小さかった。同全重量については、分散済みでは青森市造道が 3.2 g と最も重く、後潟が 0.7 g と最も軽く、未分散では青森市油川が 2.0 g と最も重く、平内町土屋が 0.6 g と最も軽かった。



5 **--**□-·未分散 分散済 4 © 3 全重量 2 1 0 **S60** S62 Н5 H7 H11 H13 H15 H17 H19 H1 H3 H9 H21 H23 H25 H27 H29 調査年度

③ 平成30年産貝の収容密度

連間隔の全湾平均値は、分散済みが 29.9cm、未分散が 30.0cm と、それぞれの平年値 35.1cm、38.0cm に 比べそれぞれ 5.2cm、8.0cm 狭かった。

養殖用稚貝の全重量の推移

図 8.

幹綱 1m 当りの収容密度の全湾平均値は、分散済みが 743 枚/m、未分散が 6,990 枚/m とそれぞれの平年 値 720 枚/m、4,009 枚/m に比べそれぞれ 23 枚、2,981 枚多く、未分散が昭和 60 年以降 5 番目に多かった。 漁協および支所別収容密度が平年値を上回ったのは、分散済みでは蓬田村、後潟、青森市奥内・造道・原別・久栗坂、平内町土屋・茂浦・浦田・東田沢・小湊で、全漁協・支所数の 50%を占め、未分散では外ケ 浜平舘、蓬田村、後潟、青森市造道・原別・久栗坂、平内町土屋・茂浦・浦田・東田沢・小湊・清水川、 横浜町、むつ市および川内町で、全漁協および支所数の 68%を占めた。また、未分散では青森市造道・原 別、平内町茂浦・浦田で 1m 当りの収容密度が 10,000 枚を超えた。

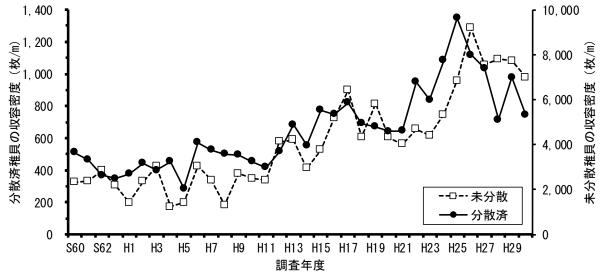


図 9. 養殖用稚貝の幹綱 1m 当りの収容密度の推移

(3) ヨーロッパザラボヤの付着状況

表 3 にヨーロッパザラボヤの付着状況を示した。

陸奥湾内10漁協と12支所において計73連の養殖資材を調査した結果、ヨーロッパザラボヤの付着は横浜町、むつ市で見られ、付着密度はそれぞれ1.00個/段、0.20個/段であった。養殖資材1段当りのヨーロッパザラボヤの付着密度は、全湾平均で0.05個/段と少なかった。

2. 養殖数量調查

養殖数量調査結果を付表6に示した。

平成30年10月1日における陸奥湾全体の平成29年産貝の販売済数量は、稚貝が949トン、半成貝が55,097トン、新貝が11,549トンの合計67,594トンであった。また、保有数量は、新貝用が1,056万枚、成貝用が12,954万枚の合計14,010万枚と、前年比109%30であった。

10月1日における陸奥湾全体の平成30年産貝の保有数量は、半成貝用が113,134万枚、新貝用が23,546万枚、成貝用が23,872万枚、地まき用が3,681万枚であった。

考 察

- 1. ホタテガイの成育状況
- (1) 平成29年産貝 (新貝)

ア へい死率および異常貝出現率が平年値を上回った要因

春季実態調査の結果、異常貝出現率の全湾平均値が 10.9%と平年値 4.2%より高かったこと 4) を踏

表 3. 養殖資材 1 段当りのヨーロッパザ ラボヤの付着状況

漁協・支所	調査連数	平均付着数
温励 文	训且是奴	(個/段)
外ヶ浜平舘	4	0.00
外ヶ浜蟹田	2	0.00
蓬田村	3	0.00
後潟	4	0.00
奥内	2 3 4 3	0.00
油川	1	0.00
青青森	1	0.00
森 造道	1	0.00
市原別	1	0.00
野内	1	0.00
久栗坂	1	0.00
土屋	2	0.00
┰_茂浦	2 3 4 5 6 7	0.00
<u> </u>	4	0.00
町 東田沢	5	0.00
^呵 <u>小湊</u>	6	0.00
清水川	7	0.00
野辺地町	5	0.00
横浜町	3	1.00
むつ市	5 3 5 9	0. 20
川内町	9	0.00
脇野沢村	2 73	0.00
計 (平均)	73	0.05

まえ、早期出荷を指導していたが、親貝用に出荷せずに残した貝は、これまでの時化で受けたダメージから回復できず、高いへい死率および異常貝出現率を示したものと考えられる。

イ 親貝の保有数量について

平成 28、29 年産貝の合計保有枚数は 1 億 4,226 万枚となり、平成 30 年 10 月 1 日時点では採苗不良年であっても採苗器 1 袋当たり 2 万個の稚貝が確保できる親貝数の目安となる 1 億 4,000 万枚を若干上回った。

ウ 今後の養殖管理について

平成 29 年産貝の異常貝出現率が高いことから、今後のへい死が強く懸念されるため、養殖施設の安定化により冬季間のへい死軽減対策の徹底を図るほか、親貝確保に配慮した計画的な出荷に努める必要がある。

(2) 平成30年産貝(稚貝)

ア 分散済稚貝の殻長および全重量が平年値を下回った要因として、以下のことが考えられる。

(ア) 採苗器における問題

- ① ホタテガイ稚貝やキヌマトイガイが採苗器に大量付着し5)、餌料不足に陥った。
- ② 大量付着した採苗器の稚貝の成長を促進するため、殻長 1~2mmでの早期間引きが必要であったが、間引き作業が遅れた。
- ③間引き後の採苗器に半成貝由来のホタテガイラーバが大量に付着した。

(イ) 稚貝採取後の問題

稚貝採取後のパールネットにエゾカサネカンザシ (通称:ミミズガキ) が大量付着し、餌料不足に 陥った。

(ウ) 稚貝分散時の問題

上記の要因により未分散稚貝の殻長が小さかったことから、分散作業の選別時に使用する篩の目合が例年に比べ小さかった。

イ 分散済稚貝のへい死率が平年値を上回った要因として、以下のことが考えられる。

(ア) 稚貝採取時~稚貝採取後の問題

- ① 採苗器内や稚貝採取後のパールネット内の稚貝が8月上旬に1週間続いたヤマセに伴う潮流の影響を受けた。
- ② 未分散稚貝のパールネット 1 段当たりの収容枚数が全湾平均値で 202 枚(平年値 127 枚)と過去 2番目に多かった。

(イ) 稚貝分散時の問題

- ①ヤマセや過密収容による影響で衰弱した稚貝が分散後のパールネットに混入した。
- ②分散作業時に生貝と死貝の殼長差があまり見られなかったため、死貝を十分に選別できず、分散後のパールネットに死貝が混入した。

今後の養殖管理について、①分散済み稚貝の収容枚数の改善は見られたが、一部の地区で依然として過密な状況にあることから、適正密度による養殖管理を徹底し、②冬季波浪等によるへい死を防ぐため、養殖施設の安定化に努め、③未分散稚貝の収容枚数の多さが、分散済稚貝の高いへい死率につながったと考えられることから、来年の稚貝採取時には1段当たりの収容枚数が多くならないように注意する必要がある。

2. ヨーロッパザラボヤの付着状況

ョーロッパザラボヤの付着密度は、全湾平均で17.87個/段見られた平成21年以降、0.00~0.33個/段の非常に低い値を維持しており、明確な漁業被害は認められていない。しかし、噴火湾において、ヨーロッパザラボヤがホタテガイに大量付着するとホタテガイの成長に悪影響を及ぼすことが明らかになっており⁶⁾、陸奥湾においても同様の被害が懸念されることから、今後とも注意深くモニタリングを継続していく必要

がある。また、パールネット等にザラボヤの付着が確認された場合は、再生産させないように分散作業等 の際に海に戻さず陸上で処分する必要がある。

文 献

- 1) 菅原理恵子 (2009) 耳吊ホタテにザラボヤが大量付着!. 北水試だより, 78, 22.
- 2) 小谷健二・吉田達・山内弘子・森恭子 (2018) ホタテガイ増養殖安定化推進事業(ホタテガイ垂下養殖 実態調査-I). 平成 28 年度青森県産業技術センター水産総合研究所事業報告, 247-262.
- 3) 山内弘子・吉田達・森恭子・小谷健二(2019) ホタテガイ増養殖安定化推進事業(ホタテガイ垂下養殖実 態調査-II). 平成29年度青森県産業技術センター水産総合研究所事業報告,223-242.
- 4) 山内弘子・吉田達・秋田佳林・小泉慎太朗 (2020) ホタテガイ増養殖安定化推進事業(ホタテガイ垂下養殖実態調査-I). 平成 30 年度青森県産業技術センター水産総合研究所事業報告, 216-234.
- 5) 山内弘子・吉田達・秋田佳林・小泉慎太朗 (2020) ホタテガイ増養殖安定化推進事業 ホタテガイ天然 採苗予報調査. 平成 30 年度青森県産業技術センター水産総合研究所事業報告, 173-202.
- 6) 菅原理恵子・馬場勝寿 (2010) 養殖ホタテガイの成長モニタリング調査. 函館水試事業報告書,34-37.

付表1-1. 前年産貝のへい死率および異常貝出現率の年度別推移

貝の	調査	上磯		青森地区		平内地区		上北地区		下北地区		全湾平均	
種類	年度	へい死	異常貝	へい死	異常貝	へい死	異常貝	へい死	異常貝	へい死		へい死	異常貝
	平成30年度	7. 3	2. 0	46. 1	18. 0	16. 5	9. 5	27. 1	10. 9	7. 4	7. 1	23. 1	9. 7
	平成29年度	46. 0	0.0	36. 4	29. 6	37. 6	25. 7	43. 5	27. 0	14. 1	24. 7	34. 4	28. 2
	平成28年度	5. 1	10.0	27. 3	34. 2	10.3	10.0	19. 1	8. 7	3.8	1.6	13. 7	8. 0
	平成27年度	3. 2	3. 9	3. 2	1.4	4. 7	11.9	2. 0	1. 9	0. 7	0. 2	2.6	3. 7
	平成26年度	4. 2	0.0	1.4	0.6	4. 2	2.7	7. 4	2. 5	1. 2	1. 0	4. 9	2. 2
	平成25年度	27.6	10.0	22. 3	1.5	30. 4	3. 7	20.8	5. 1	4. 5	1. 5	19. 6	4. 0
	平成24年度	24. 2	2.0	62. 5	2.3	20.4	2.0	15. 1	9.8	12. 5	2. 0	18.6	5. 8
	平成23年度	1.3	0.0	2. 1	1. 1	18.0	3. 2	8. 3	2.8	4.6	2. 5	8. 3	2. 2
	平成22年度	74. 2	12.8	97.8	17.3	75.8	7.4	64. 5	6. 5	28.8	0.0	66. 7	5. 7
	平成21年度	1. 1	4.0	6.4	9. 2	9. 1	2. 1	9. 3	2. 5	5. 5	3. 6	4.0	7. 0
	平成20年度	1.2	0.5	5. 1	11.7	6.3	1.2	2.0	1.0	0.3	0. 1	4. 1	2. 0
	平成19年度	1.2	5. 3	15. 2	6.8	6.6	2.3	2.8	12. 1	6. 1	1. 9	5. 6	5. 5
	平成18年度			11.6	1.5	9.0	2.4	4. 2	8.6	8. 5	9. 4	6. 3	5. 7
	平成17年度			13.6	1.7	7.0	1. 1	8. 9	8. 9	6. 6	3.8	8. 4	4. 7
	平成16年度			1.5	2.6	6.8	3. 2	5. 7	4. 9	3.8	4. 5	6.6	4. 2
	平成15年度			14.8	16.0	29. 1	6.9	29.8	21.8	3. 7	14. 5	23. 5	12. 1
	平成14年度	5.6	5. 1	1.9	2.2	14.0	3.5	18. 2	11. 4	6. 5	6.6	13. 9	7. 4
	平成13年度	3. 4	2.7	4. 5	1.3	9.6	3.0	5. 6	0.6	0.4	6.9	6.6	1. 7
	平成12年度	10.8	0.5	5.8	2.7	9.3	1. 1	6. 5	0.8	2. 1	0.9	6.8	1. 1
	平成11年度	6.6	3. 4	4. 5	0.4	10.9	3. 4	7. 7	4. 7	10.6	2. 9	8.8	3. 2
新	平成10年度	6. 2	1.8	4. 1	0.8	12.4	2. 1	6. 5	3. 1	4. 4	2. 4	7. 9	2. 2
貝	平成9年度	4. 1	3. 1	12. 5	3.6	8.2	2.0	11. 4	7. 6	5. 0	6. 2	8. 3	4. 4
	平成8年度	2.6	1.4	5.0	1.8	4.4	1.2	4.0	3. 3	5. 4	6. 0	4. 1	2. 5
	平成7年度	13. 1	0. 2	16. 9	3. 3	14. 9	2.4	11. 0	2.8	6. 0	9. 3	12.8	3. 6
	平成6年度	13.6	3.0	33.6	9.6	27. 1	4. 7	40.6	18. 1	9.8	7. 9	26.8	8. 7
	平成5年度	6.4	4. 3	21.7	13. 7	17.9	10.6	9. 0	6.8	0.0	8. 4	12.8	9. 6
	平成4年度	8.4	4.8	17.5	9.5	16. 2	5.3	12. 2	8. 1	14. 6	25. 7	15. 2	8. 5
	平成3年度	3. 3	3. 5	7. 1	4.8	8.2	3. 1	3. 4	4. 7	1.5	7. 6	5. 9	4. 1
	平成2年度	11.9	25. 1	15.7	17.2	17.8	7.6	26. 3	17. 5	23. 4	14. 2	18.8	12.8
	平成元年度	23. 3	31.6	43.9	20.5	37.6	16.8	30. 3	21. 9	11.0	48.0	36. 0	19. 5
	昭和63年度	18.0	23.6	14.8	15. 7	13.3	8.8	10.4	17. 3	6. 1	7. 4	12. 4	12. 9
	昭和62年度	6. 1	7.8	21. 2	14. 2	23.0	11.6	8.6	12.7	4. 1	12. 2	15. 4	11.8
	昭和61年度	2.5	4. 2	6.0	5.0	8.4	3.0	5. 5	2. 7	3. 3	4. 1	5. 4	3. 7
	昭和60年度	12.9	10.4	7.2	8.0	9.5	4. 1	5. 3	9. 9	2. 4	4. 5	7. 9	6. 5
	昭和59年度	9.3	9. 3	7.7	6. 7	25. 9	11.5	10. 2	10. 5	5. 4	17. 6	13. 7	11. 5
	昭和58年度	5.0	2.4	20. 2	12. 1	27.5	11.7	34. 3	21. 5	25.8	24. 9	25. 3	13. 5
	昭和57年度	4. 2	3.8	30.7	27.8	7. 5	6.0	8.8	8. 4	2.8	5. 3	9. 9	8. 3
	昭和56年度	63. 4	30.0	55. 1	34. 4	19.5	12.9	27. 0	15. 7	47. 5	16. 9	30. 9	15. 9
	昭和55年度	15. 7	11.4	29. 2	16.5	35. 4	20.3	17. 2	13. 6	11. 3	11. 3	25. 6	11.8
	昭和54年度	36. 7	17. 5	23. 1	8.2	21.0	7.3	20. 7	13. 9	18.8	13.8	19. 0	16.0
	昭和53年度	91.8	66. 7	56. 3	6.8	35. 1	4.3	47. 7	16. 2	11. 7	1. 7	38. 2	6.0
	昭和52年度	53. 1	41.0	93.3	73. 1	74. 7	42. 1	85. 8	73. 4	80. 1	70. 4	79. 9	52. 7
渔	協別内訳	外ヶ浜・	· 蓬田村	後潟・	青森市	平内	カ町	野辺地町	• 横浜町		・川内町		
17:57	MM1/3-11 1H/Z	外ヶ浜・蓬田村 後潟・青森市 平内町 野辺地町・横浜町		IMINE!	脇野	沢村							

付表1-2. 養殖用分散済み稚貝のへい死率および異常貝出現率の年度別推移

貝の	調査	上磯	地区	青森地区		平内	地区	上北	地区	下北	地区	全湾平均	
種類	年度	へい死	異常貝	へい死	異常貝	へい死	異常貝	へい死	異常貝	へい死	異常貝	へい死	異常貝
	平成30年度	8. 7	2.6	13.0	6.5	5. 5	2.5	3. 9	0.2	2.8	0.5	7. 0	2. 4
	平成29年度	4. 7	0.0	12.7	6.9	9.5	8.7	3. 7	1. 4	3. 5	2. 4	8. 7	8. 3
	平成28年度			8.3	3. 3	8.6	3.4	0.9	0.0	2. 2	0.4	5.8	2. 1
	平成27年度			5.0	4.0	8.5	8. 2	1.0	0.7	2.0	0.7	6. 1	5. 9
	平成26年度			8.9	2. 1	0.2	2.4	2. 9	1.6	3. 4	0. 1	6. 4	0.9
	平成25年度			4. 2	1.4	5.8	1.2			1.3	0.0	5. 5	1.4
	平成24年度			45.3	2.0	12.0	1.7	15. 4	3. 7	4. 3	0.8	11. 9	0.8
	平成23年度	3.4	0.7	6.5	1. 1	2.8	0.6	3. 5	0.0	2.8	0.0	66. 7	56. 3
	平成22年度					4. 1	8.9					4. 1	8. 9
	平成21年度	2.0	4. 1	1. 1	1. 1	2.5	1.2	2. 9	0.5	4. 0	0.4	2. 1	1.0
	平成20年度	2.8	0.8	3.0	5.8	3. 1	0.9	0. 5	0.3	0.6	0. 2	3. 3	1.4
	平成19年度			3. 2	0.9	1.8	1.3	0.4	0.0	0.9	0.0	1. 9	0.9
	平成18年度			5.0	1.0	2.3	0.6	2.0	1.5	1. 3	2.0	2. 2	1. 2
	平成17年度			6.8	0.5	3. 3	0.7	1.5	0.8	3. 0	1.0	3. 2	0.7
	平成16年度	3. 2	0.8	2.8	0.5	1.7	1.0	5.6	0.0	2.6	1. 3	2. 9	0.9
	平成15年度	2.5	6. 7	0.8	1.8	11.5	1.0	8.6	3. 3	7. 6	3. 0	3. 1	2. 1
	平成14年度	3.4	2. 7	1.7	2.2	3. 9	0.4	5. 3	0.0	1.4	1. 7	3. 4	1.5
稚	平成13年度	1.8	2. 2	1.4	1.6	1.7	0.7	3. 1	0.5	2.8	0.3	2.6	1.8
貝	平成12年度	9. 7	5.0	10.8	2.5	4.7	1.5	4. 9	0.7	4. 3	0.0	8.5	1. 9
	平成11年度	3. 1	0.8	5.4	0.4	2.5	1.0	1. 2	0.3	0.8	0.5	2. 3	0.7
分	平成10年度	1.3	2. 3	2.8	1. 1	1.8	1.2	5. 1	0.4	1. 9	0. 5	2. 5	0.9
散	平成9年度	3.0	3.8	2.6	1. 1	4.5	1.9	0.9	0.2	0.6	1. 3	2. 7	1.6
溶	平成8年度	0.3	0. 1	2.8	0.5	6.0	3. 3	3. 3	0.9	1. 7	2. 1	4. 1	2. 4
済)	平成7年度	4.0	3. 5	5.9	1.7	5.6	3. 3	3. 0	2. 7	2. 2	3. 5	5. 7	3.8
	平成6年度	9. 5	3.6	6.8	1.4	5.4	2.4	8.8	1.4	6. 3	2. 2	6. 5	2. 3
	平成5年度	4. 4	2. 3	1.7	1.8	3. 7	5.0	4. 3	2. 3	4. 3	4. 4	3.8	3. 6
	平成4年度	2. 7	2.0	2.6	1.2	2.4	1.2	2. 7	1.5	2. 7	2. 1	2.6	1.5
	平成3年度	2.5	7. 2	3.5	2.3	1.4	2. 2	2.0	5. 1	1.8	3. 9	2. 1	3.8
	平成2年度	8.6	3. 4	9.5	4.7	4.0	4. 7	9.0	17. 7	3. 4	4. 2	6. 4	6. 6
	平成元年度	2.0	4. 5	3. 1	1.7	2.5	2.5	1. 2	5. 1	2.8	13. 0	2. 3	5. 1
	昭和63年度	3. 4	8. 9	2.6	13.3	3. 2	12.5	4. 2	28. 2	4. 3	30. 9	3. 7	20.6
	昭和62年度	15. 1	2. 5	11.2	4. 5	5. 9	8. 7	0. 7	2. 4	2. 3	7. 1	5. 5	6. 2
	昭和61年度	7. 2	3. 4	5. 2	5.3	4.0	3.8	3. 2	1. 1	15. 5	1. 1	8.8	2.6
	昭和60年度	32. 7	6. 4	13.6	3.9	4. 5	5. 2	1. 7	1.5	7. 7	1. 4	9.8	4. 0
	昭和59年度	1.7	17. 2	1.4	8. 2	3.5	2.3	1. 2	4. 3	6. 3	4. 4	3. 2	5. 9
	昭和58年度	12.0	7.8	15.9	11.9	11.2	20.7	10. 3	32. 4	5. 5	23. 2	8.0	22. 9
	昭和57年度	6. 5	12. 4	7. 1	24. 0	3.2	21.5	3. 1	4. 7	2. 9	4. 5	4. 3	14. 9
	昭和56年度	1.7	3. 1	4. 7	3.0	1.2	1.1	2. 0	0.4	1. 1	0.6	2. 0	1. 3
	昭和55年度	2.0	0.4	12.7	0.7	6.5	1.6	7. 7	1.5	8. 5	2. 3	7. 1	1. 2
	昭和54年度	18.6	3. 2	16.8	4. 9	9.1	8.0	13. 1	7. 5	9.8	2. 4	11. 4	3. 7
	昭和53年度	47.0	6. 4	16.5	3. 2	15. 2	1.0	15.8	0.8	18. 7	0.0	18.6	1. 6
漁	協別内訳	外ヶ浜・	・蓬田村	後潟・	青森市	平区	与町	野辺地町	横浜町		・川内町		
,,,,,		, , , ,		29			-	, ,		脇野	沢村		

付表2-1. 平成30年度秋季実態調査結果表(前年産員)

付表2-1.	平成30年度	【秋季実態 】	周査結果表	(前年産貝)							
全	湾	調査連数	へい死率	異常貝	殼長		軟体部重量		一段当りの	一連当りの	幹綱1m当りの
		(連)	(%)	出現率(%)	(cm)	(g)	(g)	(cm)	収容密度(枚)	収容密度(枚)	収容密度(枚)
	パール	0									
外ヶ浜	耳吊り	0									
(平舘)	丸篭	0									
	計	0									
	ア 均パール	0									
外ヶ浜	耳吊り	0									
(蟹田)	丸 篭	0									
	計	0									
	平均										
	パール	1	7. 3	2.0	9. 4	78. 1	22. 2	30.0	8. 2	82	273
蓬田村	耳吊り	0									
逢田刊	丸 篭	0									
	計	1									
	平均		7. 3	2.0	9.4	78. 1	22. 2	30.0	8. 2	82	273
	パール	1	35. 7	0.0	9.8	95. 4	35. 1	30.0	11. 2	112	373
後潟	耳吊り	0									
	丸 篭	0									
	計	1									
	平均		35. 7	0.0	9.8	95. 4	35. 1	30.0	11. 2	112	373
	パール 耳吊り	1	56. 5	36. 0	9. 1	81. 5	25. 4	20.0	21.0	168	840
青森市	丸篭	0									
	計	1									
	平均	1	56. 5	36. 0	9. 1	81. 5	25. 4	20.0	21.0	168	840
	パール	0	30. 3	50.0	J. 1	01.0	20. 1	20.0	21.0	100	040
	耳吊り	4	16. 0	8.8	8. 9	88. 2	29. 0	35. 4		150	426
平内町	丸 篭	0	10.0	0.0	0.0	00.2	20.0	00.1		100	120
	計	4									
	平 均		16.0	8.8	8. 9	88. 2	29. 0	35.4	0.0	150	426
	パール	0									
野辺地町	耳吊り	6	28. 4	12.5	9.3	96.8	34. 3	46.7		171	367
21 22 20 11	丸 篭	0									
	計	6									
	平均	_	28. 4	12.5	9. 3	96.8	34. 3	46.7		171	367
	パール 耳吊り	0	00.0	0.7	0.0	75 7	00.4	97 5		140	400
横浜町		8	26. 0	9. 7	8. 6	75. 7	26. 4	37.5		143	400
	丸 卷 計	0 8									
	平均	0	26. 0	9. 7	8. 6	75. 7	26. 4	37.5		143	400
	パール	2	14. 3	8.0	7. 0	36. 1	10. 5	65. 0	18.3	147	226
)	耳吊り	0									
むつ市	丸 篭	1	12.0	26.0	7. 7	56. 2	20. 1	60.0	33. 3	333	555
	計	3									
	平 均		13.5	14.0	7. 3	42.8	13. 7	63.3	23.3	209	335
	パール	0									
川内町	耳吊り	0									
	丸 篭	6	6. 0	5. 6	8. 5	69.6	20. 5	55.4	13. 2	132	241
	計 平 均	6	C 0	г.с	0.5	co c	90 5	FF 4	10.0	120	0.41
	パール	0	6. 0	5. 6	8. 5	69. 6	20. 5	55. 4	13. 2	132	241
	耳吊り	0									
脇野沢村	丸 篭	2	2. 4	1.0	9. 0	91.8	32. 8	57. 5	10.5	105	182
	計	2	5. 1	1. 0	J. 0	51.5	02.0	51.0	10.0	100	132
	平均		2. 4	1.0	9. 0	91.8	32. 8	57.5	10.5	105	182
	パール	5	17.0	5.5	8. 5	64. 1	19.8	43.8	13.4	117	295
全体	耳吊り	18	26. 4	10.7	8.8	83.8	29. 4	40.7	0.0	153	390
土 14	丸 篭	9	5. 1	5. 2	8.6	76. 2	24. 5	56.3	13. 3	133	238
	計	32									
	平 均		23. 1	9.7	8.8	82.0	28. 3	43.0	13.4	149	365

付表2-2. 平成30年度青森市漁協秋季実態調査結果表(前年産員)

刊衣2~	2. 平成30年				衣 (削牛						
書	森市漁協	調査連数			殼 長			連間隔	一段当りの		
FI.	林川が加	(連)	(%)	出現率(%)	(cm)	(g)	(g)	(cm)	収容密度(枚)	収容密度(枚)	収容密度(枚)
	パール	1	56.5	36.0	9. 1	81.5	25. 4	20.0	21.0	168	840
奥区	耳吊り	0									
央 P	丸篭	0									
	計	1									
	平 均		56.5	36.0	9. 1	81.5	25. 4	20.0	21.0	168	840
	パール	0									
油丿	耳吊り	0									
佃)	丸 篭	0									
	計	0									
	平 均										
	パール	0									
-	H P N	0									
青	丸篭	0									
	計	0									
	平均										
	パール	0									
Sat S	H H W	0									
造 ji	丸篭	0									
	計	0									
	平均	, and the second									
	パール	0									
	甘早り	0									
原原	丸篭	0									
	計	0									
	平均	v									
	パール	0									
	T 0 10	0									
野り	丸竜	0									
	計	0									
	平均	, and the second									
	パール	0									
l	H H W	0									
久栗均	人 丸 篭	0									
	計	0									
	平均										
	パール	1	56. 5	36.0	9. 1	81. 5	25. 4	20.0	21.0	168	840
	甘足り	0	50.5	30.0	J. 1	01.0	20.4	20.0	21.0	100	340
全(本 丸 篭	0									
	計	1									
	平均	1	56. 5	36. 0	9. 1	81. 5	25. 4	20. 0	21.0	168	840
	1 14 14)		1 50.5	30.0	9. 1	01.0	40.4	40. U	41.0	100	040

付表2-3. 平成30年度平内町漁協秋季実態調査結果表(前年産員)

付表2-3.	平成30年	度平内町漁	協秋季実態	態調査結果表	(前年)	至貝)					
亚内	町漁協	調査連数	へい死率	異常貝	殼 長	全重量	軟体部重量	連間隔	一段当りの	一連当りの	幹綱1m当りの
+ P1	門低肠	(連)	(%)	出現率(%)	(cm)	(g)	(g)	(cm)	収容密度(枚)	収容密度(枚)	収容密度(枚)
	パール	0									
土屋	耳吊り	0									
上 崖	丸 篭	0									
	計	0									
	平 均										
	パール	0									
茂浦	耳吊り	0									
)久 1冊	丸 篭	0									
	計	0									
	平均										
	パール	0									
浦田	耳吊り	0									
11111	丸 篭	0									
	計	0									
	平 均										
	パール	0									
東田沢	耳吊り	1	10.4	2. 0	8. 7	86.4	30. 2	30.0		128	427
/ICIT-00	丸 篭	0									
	計	1									
	平均		10.4	2.0	8. 7	86. 4	30. 2	30.0	0.0	128	427
	パール	0									
小 湊	耳吊り	0									
	丸 篭	0									
	計	0									
	平均	0									
	パール	0	10.0	10.0	0.0	00.1	00.5	97.0		101	405
清水川	耳吊り	3	18. 6	12. 0	9.0	89. 1	28. 5	37. 9		161	425
	<u>丸 篭</u> 計	0									
		3	10.0	10.0	0.0	00.1	90 5	97.0	0.0	101	405
	平 均 パール	0	18. 6	12. 0	9.0	89. 1	28. 5	37. 9	0.0	161	425
	耳吊り	4	16. 0	8.8	8. 9	88. 2	20.0	35. 4		150	426
全 体	丸篭	0	10.0	0.8	0.9	00.2	29. 0	əə. 4		190	420
	計	4									
	平均	4	16. 0	8. 8	8. 9	88. 2	29. 0	35. 4	0.0	150	426
	平均		10.0	0.8	0.9	00. 4	Z9. U	აა. 4	0.0	190	420

付表3-1. 秋季実態調査結果(パールネット)の推移(前年産貝)

付表3-1.	伙学夫忠誠	査結果(パ .	ールイツト)の推移	(削牛座貝)				
調査年	へい死 率(%)	異常貝 出現率(%)	殼 長 (cm)	全重量 (g)	軟体部 重量(g)	軟体部 指数	連間隔 (cm)	1 段当りの 収容密度(枚)	幹綱1m当りの 収容密度(枚)
60	9. 0	5. 2	7.8	54. 2			50.0	15. 0	226
61	5.8	3.8	7. 7	50.8			47. 1	15. 1	269
62	21. 3	9. 3	8. 0	57. 5			45. 3	15. 1	306
63	17.8	13. 0	8. 2	62. 9			43. 5	15. 5	298
1	34. 9	18. 1	8. 4	70.8	22. 2	31. 4	39. 9	13. 0	280
2	16.8	10. 6	9. 0	79. 4	26. 0	32. 7	43. 1	13. 7	312
3	7. 3	3. 5	8. 7	73. 3	24.8	33. 8	38. 9	13. 8	346
4	15. 1	5. 7	8.9	77.8	25. 5	32. 8	37.8	13. 2	338
5	17. 7	11. 4	9. 2	86. 5	28. 0	32. 4	38. 6	11.8	299
6	26. 2	5. 2	9. 2	85. 1	26. 7	31. 4	35. 6	11.5	375
7	11.8	2. 4	8. 7	71. 0	20.6	29. 0	35. 9	12. 0	353
8	3. 7	1. 1	8.6	69. 6	21. 9	31. 5	34. 8	11.5	336
9	9.0	2. 4	8.6	71. 3	22.8	32. 0	30. 1	11.9	349
10	9.8	1. 7	8. 4	64. 9	20.0	30.8	39.8	11.9	311
11	12. 0	2. 1	8. 4	66. 2	20. 4	30. 8	39. 5	11.8	325
12	5. 8	0.8	8. 4	60. 9	19. 5	32. 0	31. 5	12. 4	366
13	9. 6	1.6	8. 2	59. 5	22. 6	38. 0	25. 1	13. 7	551
14	7. 0	2. 1	9. 2	86. 5	27. 2	31. 4	37. 2	11.8	308
15	27. 7	5. 1	8. 2	65.8	21.4	32. 5	25. 9	9. 2	305
16	7. 7	3. 8	8.9	77. 6	26. 2	33. 8	28. 5	12. 3	369
17	14. 1	1.7	8.3	61. 1	18.9	30. 9	36. 4	14. 6	350
18	23. 7	1. 2	7.7	48. 5	15. 4	31. 7	31. 4	18. 5	526
19	11. 1	6. 4	9. 3	81. 2	28. 1	34. 6	33. 4	13. 1	362
20	3.6	2.8	8. 7	63. 6	21.6	34. 0	34. 6	11.8	344
21	6. 9	8. 2	9. 2	89. 1	31.9	35. 8	49. 3	13. 0	273
22	72. 7	10. 7	9. 1	88. 2	26. 1	29. 6	42. 9	12. 6	332
23	10. 5	1. 4	8. 3	59. 4	20.5	34. 5	19. 9	10.7	513
24	25. 8	2. 1	7. 9	51. 5	15. 1	29. 2	31. 1	18. 5	648
25	22. 9	1.3	7. 9	49. 9	15. 1	30. 3	40.4	13. 2	374
26	5. 4	0.6	7.8	50. 5	16.6	32. 9	38. 1	15. 3	463
27	5. 2	2. 7	9. 1	80. 9	28. 4	35. 1	35. 1	13. 3	497
28	18.9	13. 7	9. 5	94. 0	34.6	36. 8	26. 3	15. 1	751
29	44. 4	41. 3	8. 3	59. 5	19. 9	33. 4	27.8	12.7	450
30	17.0	5. 5	8. 5	64. 1	19.8	30.8	43.8	13. 4	295
60-29平均	16. 4	6. 1	8. 5	68.8	23.0	32. 6	36. 2	13. 3	379

付表3-2. 秋季実態調査結果(耳吊り)の推移(前年産員)

付表3-2.	伙学关忠词:	查結果(耳角	らり) の推り	移 (削牛座	貝)				
調査年	へい死 率(%)	異常貝 出現率(%)	殻 長 (cm)	全重量 (g)	軟体部 重量(g)	軟体部 指数	連間隔 (cm)	1連当りの 収容密度(枚)	幹綱1m当りの 収容密度(枚)
60	10.6		8.0	65. 8			57. 0	176	275
61	8.6	3. 1	7.8	55. 4			51. 5	188	387
62	19. 7	14. 9	7. 7	57. 6			48. 9	185	410
63	11.0	14. 8	8.0	66. 9			53. 3	170	332
1	40. 9	21. 0	8. 5	77. 9	25. 5	32. 7	42. 5		379
2	25. 0	16. 0	8. 7	75. 6	22. 9	30. 3	47. 6	169	376
3	5. 4	4. 6	9. 1	88. 5	31.8	35. 9	46.6	149	336
4	6.6	7. 3	9. 2	89. 8	30. 6	34. 1	40. 1	160	457
5	11. 1	6. 1	9. 2	91. 3	31. 4	34. 4	42. 3	140	370
6	36. 5	12. 1	9. 2	88. 5	27. 4	31.0	40. 3	149	409
7	18.6	2. 2	8.9	74. 2	21.6	29. 1	38. 0	150	446
8	4.5	2.8	9. 2	92. 1	31.5	34. 2	40.6	148	390
9	10.4	3.8	9. 1	94. 1	31.6	33. 6	33. 4	140	458
10	6.8	2. 9	9. 0	84. 0	27. 4	32. 6	41. 4	145	382
11	8.8	5. 3	8. 5	75. 2	25. 8	34. 3	43.8	135	351
12	8.8	1. 1	8. 9	81. 0	24. 9	30. 7	37. 9	147	450
13	6. 7	2. 3	9. 1	88. 2	33. 4	37. 9	35. 3	147	488
14	18. 7	10. 4	9. 4	106. 9	38. 9	36. 4	41.0	135	342
15	30. 5	20. 4	8.8	86. 0	31. 2	36. 3	42. 0	141	403
16	5. 1	4. 1	9. 1	86. 7	29. 5	34. 0	40. 9	146	391
17	7. 9	5. 7	66. 2	20. 4	24. 6	120.6	32. 6	148	510
18	3. 9	5. 5	8. 7	70. 6	23. 7	33. 6	43. 5	162	408
19	5. 0	5. 6	8.9	81. 1	27. 7	34. 2	35. 8	152	473
20	4.9	1. 7	8.8	77. 4	27. 4	35. 4	38. 7	143	412
21	9. 0	2. 5	9. 7	115. 3	42. 1	36. 5	46. 2	154	367
22	67. 2	5. 3	8.6	73. 3	25. 2	34. 4	38. 2	149	417
23	9.3	2. 3	8.5	75. 2	28. 6	38. 0	35. 5	145	422
24	14.6	9. 1	8. 2	64. 0	21. 2	33. 2	39.8	149	394
25	20. 9	4. 6	8.0	56. 5	16. 8	29. 8	43. 1	151	374
26	5. 4	2. 8	8. 2	66. 7	23. 6	35. 3	34. 0	132	370
27	2.6	4. 7	9. 6	114. 2	42.8	37. 4	39. 5	145	374
28	15. 6	8. 2	9. 6	103. 0	35. 9	34. 8	37. 0	143	432
29	43. 7	28. 4	8. 5	72. 6	24. 2	33. 3	36. 8	152	424
30	26. 4	10. 7	8.8	83. 8	29. 4	35. 0	40. 7	153	390
60-29平均	15. 3	7. 6	8.8	80. 8	28. 6	34. 1	41. 4	151	400

付表3-3. 秋季実態調査結果(丸篭)の推移(前年産貝)

付表3-3.	伙子大忍。	自 査結果(丸	电/ 切压物	(刑千庄只	/				
調査年	へい死 率(%)	異常貝 出現率(%)	殼 長 (cm)	全重量 (g)	軟体部 重量(g)	軟体部 指数	連間隔 (cm)	1 段当りの 収容密度(枚)	幹綱1m当りの 収容密度(枚)
60	3. 1	3. 9	7.5	53. 7			66. 0	13. 0	182
61	3.1	4. 0	7. 6	50. 2			68. 0	13. 0	175
62	4.0	11.8	7. 8	57. 8			73. 5	13. 2	176
63	7. 1	11. 2	8. 2	64. 2			58. 1	13. 4	242
1	7. 0	35. 0	8.8	75. 8	26. 2	34. 6	67. 3	11.5	174
2	13.8	18. 0	8. 5	69. 4	23. 0	33. 1	60.8	12. 5	195
3	2. 1	4. 9	8.6	73. 8	27. 0	36. 6	52. 7	11.5	242
4	12. 4	22. 6	8. 5	68. 4	23. 4	34. 2	62. 6	12. 1	196
5	3. 6	10.0	9. 0	83. 4	30.0	36. 0	57. 9	12. 0	197
6	9. 3	8.6	8. 3	65. 8	20. 9	31. 8	62. 2	11.8	199
7	5. 3	8.6	8. 4	64. 5	23. 4	36. 3	53. 1	12. 6	222
8	4. 2	4. 9	8. 0	60. 4	19. 4	32. 1	49. 1	12. 7	285
9	5.0	5. 1	8.6	71.8	25. 3	35. 2	60.8	11.5	203
10	4.8	2. 3	8. 0	65. 0	22. 3	34. 3	52. 0	12. 7	239
11	2.6	1.7	8. 0	58. 3	20. 1	34. 5	51. 4	12. 9	244
12	4. 2	1. 4	8. 1	56. 5	17. 7	31. 3	50.6	12. 9	259
13	1.0	0.6	8. 0	58. 0	22. 3	38. 4	54. 9	17.8	322
14	9. 5	5. 4	8. 3	74. 9	28. 9	38. 6	47.8	13. 3	270
15	2. 2	10.8	7. 9	57. 7	22. 7	39. 3	58. 0	17. 9	315
16	7.7	4. 7	8.3	67. 2	24. 2	36. 0	51. 6	14. 7	288
17	6.1	4. 5	7. 7	52. 2	16. 9	32. 4	51. 3	17. 0	340
18	6.7	8.6	7. 2	40.3	13. 9	34. 6	52. 2	21. 3	394
19	5.3	4. 9	7.8	52. 9	17. 5	33. 0	49. 2	18. 9	371
20	1.7	2. 4	8.3	58. 7	20.7	35. 3	53. 5	15. 9	301
21	4.8	2. 9	8.9	84. 7	32. 2	38. 0	54. 3	16. 5	303
22	31.3	0.0	8.3	61. 6	18. 3	29.8	52. 3	15. 8	304
23	4.5	2. 4	8. 0	55. 8	20. 5	36. 8	53. 1	12. 7	244
24	18.3	3. 3	7. 7	50. 5	16. 1	32. 0	58. 5	17. 0	289
25	5. 7	2. 4	7.0	36. 3	11. 3	31. 0	53. 1	20.6	395
26	0.9	0. 7	7. 7	51.6	18. 7	36. 4	52. 1	16.8	316
27	0.5	0. 2	8.6	75. 4	27. 3	36. 2	43. 0	14. 5	345
28	7.6	7. 1	9. 0	83. 3	28. 2	33. 9	59. 6	16. 6	278
29	12.9	23. 2	8.0	61. 5	19. 9	32. 3	49.8	16. 9	326
30	5. 1	5. 2	8.6	76. 2	24. 5	32. 2	56. 3	13. 3	238
60-29平均	6.6	7. 2	8. 1	62. 5	22. 0	34. 6	55.8	14. 7	268

付表3-4. 秋季実態調査結果(全体)の推移(前年産員)

調査年	へい死 率(%)	異常貝 出現率(%)	殻 長 (cm)	全重量 (g)	軟体部 重量(g)	軟体部 指数	連間隔 (cm)	幹綱1m当りの 収容密度(枚)
60	7. 0	5. 3	7.7	57. 0			58. 0	222
61	5. 4	3. 7	7. 7	51. 9			55. 1	272
62	15. 4	11.8	7. 9	57. 7			56. 9	276
63	12. 4	12. 9	8.1	64. 5			52. 1	289
1	36. 0	19. 5	8. 5	72. 8	23. 2	31. 9	42. 7	293
2	18.8	12.8	8.8	75. 8	24. 7	32. 6	48.0	300
3	5. 9	4. 1	8.8	76. 7	26. 8	34. 9	43.8	318
4	15. 2	8. 5	8. 9	78. 4	26. 2	33. 4	44. 9	331
5	12.8	9. 6	9. 1	87. 2	29. 4	33. 7	43. 7	297
6	26. 8	8. 7	9. 1	82. 9	26. 0	31. 4	41. 9	356
7	12.8	3. 6	8. 7	70. 7	21.8	30.8	40. 3	357
8	4. 1	2. 5	8. 7	74. 9	24. 4	32. 6	39. 7	342
9	8. 9	3. 2	8.8	79. 1	26. 2	33. 1	35. 5	365
10	7. 9	2. 2	8. 5	70.8	22. 7	32. 1	42. 9	318
11	8.8	3. 2	8.3	67. 7	22. 3	32. 9	43. 7	316
12	6.8	1. 1	8.6	69. 7	21. 7	31. 1	39. 5	380
13	6.6	1. 7	8.6	72. 0	27. 4	38. 1	35. 4	478
14	13. 9	7. 4	9. 1	94. 3	33. 9	35. 9	42. 0	316
15	23. 5	12. 1	8. 4	71.8	25. 4	35. 4	38. 6	345
16	6. 6	4. 2	8.8	77. 9	26. 9	34. 5	41. 5	351
17	8. 4	4. 7	8.3	64. 7	21.5	33. 2	38. 4	437
18	6. 3	5. 7	8.3	62. 6	21.0	33. 6	44. 1	416
19	5. 6	5. 5	8. 7	75. 8	25. 8	34. 1	38. 1	445
20	4. 1	2. 0	8. 7	72. 0	25. 3	35. 2	40.8	382
21	7. 5	3. 1	9. 4	103. 1	38. 0	36. 9	49. 1	338
22	66. 7	5. 7	8.6	74. 5	25. 1	33. 7	39. 2	405
23	8.3	2. 2	8.3	68. 5	25. 6	37. 4	37. 7	391
24	18.6	5.8	8.0	57. 5	18. 3	31. 9	41.3	445
25	19. 6	4. 0	7. 9	53. 5	16. 0	29. 9	43.8	376
26	4. 9	2. 2	8. 1	61. 9	21.8	35. 3	37. 9	475
27	2. 6	3. 7	9. 4	104. 0	38. 6	37. 1	39. 6	384
28	13. 7	8. 0	9. 5	98. 0	34. 0	34. 7	42. 3	401
29	34. 4	28. 2	8.3	67. 9	22. 4	33. 0	39.8	397
30	23. 1	9. 7	8.8	82. 0	28. 3	34. 5	43.0	365
60-29平均	13.8	6. 6	8.6	73. 2	25. 6	33. 8	43.0	358

付表4-1. 平成30年度秋季実態調査結果表(養殖用稚貝)

<u>刊 衣4-1</u>	. 干!戏!	叶及似学	大心训旦	. 他不么 \	食 ^{他用}	性只				
全湾		調査連数	へい死率 (%)	異常貝 出現率(%)	殻長 (cm)	全重量 (g)	連間隔 (cm)	一段当りの	一連当りの	幹綱1m当り の収容密度(枚)
			(%)	田児学(%)	(cm)	(g)	(cm)	収谷省及(权)	収谷省及(权)	の収容密度(权)
外ヶ浜		0	11.7	0.0	0.1	1.0	00.4	151 5	1 755	0.451
(平舘)	未分散	4	11.7	2. 3	2. 1	1. 0	20. 4	171.5	1, 755	8, 451
		4	10.5	0.5	0.0	1 1	46.0	01.0	070	500
外ヶ浜	分散済	2 2	12. 5 12. 1	3. 5	2. 2 1. 9	1. 1 0. 8	46. 9 47. 8	21. 3 125. 3	272 1, 599	590 3, 346
(蟹田)	<u>未分散</u> 計	4	12. 1	1.8	1. 9	0.8	47.8	125. 3	1, 599	3, 340
	分散済	2	4. 8	1. 6	1.8	0.8	26. 0	32.6	326	1, 269
蓬田村	未分散	2	7. 9	2. 1	1.8	0. 8	27.6	153. 6	1, 536	5, 380
连田11	計	4	1. 3	2.1	1.0	0. 1	21.0	100.0	1, 550	5, 560
	分散済	1	18.0	0.0	1.8	0. 7	35. 0	36. 1	361	1,031
後潟	未分散	3	9. 2	1. 3	1. 9	0.8	35. 0	187. 4	1, 874	5, 570
12.0	計	4	0.2	1.0	1.0	0.0	00.0	101.1	1,011	0,010
	分散済	6	11. 3	5.0	2. 2	1. 3	29. 3	22. 1	178	623
青森市	未分散	10	16. 8	1. 9	2. 1	1. 1	28. 6	192. 2	1, 796	6,070
	計	16							ĺ	,
	分散済	24	5. 5	2.5	2. 3	1. 5	22. 5	25.8	222	1, 181
平内町	未分散	24	5. 9	1.7	2. 1	1. 1	24. 1	221. 2	1, 900	9,654
	計	48								
	分散済	0								
野辺地町	未分散	5	4.7	0.0	2.7	1.9	41.7	117.9	1, 179	2,806
	計	5								
	分散済	5	3. 9	0.2	2.4	1. 5	30.6	16. 1	154	516
横浜町	未分散	3	2. 2	0.0	2. 3	1.4	42.6	183.8	1, 838	4, 249
	計	8								
	分散済	1	1.0	0.0	2. 5	2.0	50.0	36. 4	291	582
むつ市	未分散	3	5. 3	0.5	2. 3	1. 4	40.0	257. 2	2, 057	5, 143
	計	4								
III ala mas	分散済	0								
川内町	未分散	6	21. 1	1.4	2. 2	1. 3	51.6	330. 3	3, 121	5, 886
	計	6								
마수 배소 있다 구구	分散済	2	3.6	0.7	2.5	1. 9	36. 8	19.7	158	432
脇野沢村	未分散	2	4. 0	1. 2	2. 3	1. 5	41. 2	130.0	1,040	2,610
	計	4	7.0	0.4	0.0	1 4	90.0	99.0	900	7.40
^ <i>t</i>	分散済	43	7. 0	2. 4	2. 3	1. 4	29. 9	22. 9	200	743
全 体	未分散	64	10. 3	1. 7	2. 1	1. 1	30.0	202. 1	1,868	6, 990
	計	107								

付表4-2. 平成30年度青森市漁協秋季実態調査結果表 (養殖用稚貝)

	1 2.				阿丑帕木玖						
	害本:	市漁協	調査連数	へい死率	異常貝	殼長	全重量	連間隔	一段当りの	一連当りの	幹綱1m当り
	H 77K	13 1777 1000	(連)	(%)	出現率(%)	(cm)	(g)	(cm)	収容密度(枚)	収容密度(枚)	の収容密度(枚)
		分散済	2	11.6	5. 1	2.6	1. 9	30.0	26.8	256	853
奥	内	未分散	2	11.0	2.0	2.4	1.5	32.3	115.3	1, 055	3, 201
		計	4								
		分散済	1	17.0	6.0	2.3	1.4	35.0	10.0	100	286
油	Ш	未分散	1	11.4	2.0	2. 5	2.0	40.0	34.1	341	853
		計	2								
		分散済	1	10.1	8.0	2.6	2. 1	30.0	21.0	168	560
青	森	未分散	1	23. 9	2.0	2.0	0.9	30.0	103. 0	824	2, 747
		計	2								
	道	分散済	1	3. 9	6.0	3.0	3. 2	30.0	25. 9	259	863
造		未分散	1	35.8	0.0	2.4	1. 5	30.0	400.7	4, 007	13, 356
		計	2								
	別	分散済	1	2. 1	4.0	2.9	2. 3	25.0	42.7	470	1,880
原		未分散	1	8. 2	4.0	2. 4	1. 5	25.0	257. 7	2, 834	11, 337
		計	2								
		分散済	1	29. 2	18. 0	2. 3	1. 4	40.0	30.0	240	600
野	内	未分散	1	14. 6	2. 0	2. 6	1. 9	40.0	164. 0	1, 312	3, 280
		計	2								
		分散済	1	13. 3	6. 0	2. 3	1.4	23. 0	30.8	308	1, 339
人身	 表坂	未分散	1	16. 3	2. 0	2. 5	1.8	23. 0	186. 0	1,860	8, 087
		計	2								
		分散済	8	8.6	5.8	2.7	2. 2	28. 5	30. 9	310.8	1, 141
全	体	未分散	8	13.5	2.6	2.4	1.6	29.4	201. 9	2, 097. 7	7, 869
		計	16								

付表4-3. 平成30年度平内町漁協秋季実態調査結果表 (養殖用稚貝)

平内町漁協		調査連数	へい死率	異常貝	殼長	全重量	連間隔	一段当りの	一連当りの	幹綱1m当り
47	1町 偲 協	(連)	(%)	出現率(%)	(cm)	(g)	(cm)	収容密度(枚)	収容密度(枚)	の収容密度(枚)
	分散済	2	6.0	3. 1	2. 1	1.1	15.6	20.7	207	1, 413
土 屋	未分散	2	6.0	0.0	1.8	0.6	17. 1	141.6	1, 416	8, 394
	計	4								
	分散済	3	2. 7	0.5	2.4	1.8	17. 3	31.9	289	1,825
茂浦	未分散	3	4. 5	2. 6	2. 1	1.0	18. 4	191. 9	1, 789	10,074
	計	6								
	分散済	4	6. 7	1. 1	2.4	1.5	15. 5	31.4	251	1,678
浦田	未分散	4	9.0	1. 5	2. 1	1.0	15.0	267. 5	2, 140	15, 933
	計	8								
	分散済	4	7. 7	3. 1	2. 1	1.2	26.0	25.6	205	785
東田沢	未分散	4	7. 9	2.6	2.0	1.0	26. 4	219. 2	1, 754	6, 904
	計	8								
	分散済	6	5. 6	5. 9	2.5	1.8	26. 5	22.3	183	722
小 湊	未分散	6	4. 3	0.6	2.3	1.5	29.6	195. 1	1, 581	5, 356
	計	12								
	分散済	5	3.8	2. 4	2.4	1.6	34. 4	18.9	181	534
清水川	未分散	5	2. 1	2. 3	2.2	1.2	36. 6	217.8	2, 100	5, 967
	計	10								
	分散済	24	5. 5	2. 5	2.3	1.5	22. 5	25.8	222	1, 181
全 体	未分散	24	5. 9	1.7	2. 1	1.1	24. 1	221.2	1, 900	9, 654
	計	48								

付表5. 秋季実態調査結果の推移(養殖用稚貝)

付表5. 私	火李美悲調	査結果の推	恀 (食作	用惟貝)											
調			分		散	済				未		分	散		
查 年	へい死 率(%)	異常貝 出現率(%)	殼長 (cm)	全重量 (g)	連間隔 (cm)	1段当りの 収容密度(枚)	幹綱1m当りの 収容密度(枚)	へい死 率(%)	異常貝 出現率(%)	殼 長 (cm)	全重量 (g)	連間隔 (cm)	1 段当りの 収容密度(枚)	幹綱1m当りの 収容密度(枚)	
60	7. 4	4.8	2.6	2. 1	53.0	28.0	512	14. 5	1.0	2.5	1.7	59.0	130. 0	2, 314	
61	2. 5	3.5	2. 2	1. 3	49.3	27. 1	464	10.0	2. 5	2.0	1.0	50.3	142.6	2, 373	
62	4.0	7.3	2.6	2. 2	46. 6	19. 4	369	16.8	5. 0	2. 4	1.5	44. 6	135. 6	2, 831	
63	2. 9	16. 2	3. 2	4.0	47. 3	17. 3	347	5.8	8. 1	2.6	2. 4	48.0	105. 4	2, 170	
1	2. 3	3. 3	3. 3	4. 3	43. 0	16. 1	376	4. 3	7. 1	3.0	3. 5	45.0	75. 0	1, 420	
2	6. 5	6.8	2.7	2. 2	44. 5	19. 9	443	40.9	7. 7	2. 5	2.8	46.0	117. 9	2, 367	
3	1. 9	3.5	3. 2	3. 9	41.7	16. 4	400	5. 5	0.9	2. 9	3.0	39. 6	129. 8	3, 026	
4	2.8	1.4	2.9	2.8	38. 4	16. 3	455	3. 2	1.0	2.8	2.6	43.8	50. 3	1, 241	
5	3. 6	3. 7	3. 0	3. 5	42.6	17. 2	287	21. 2	3. 0	3. 0	3. 1	46. 0	76. 5	1, 423	
6	5. 6	2. 4	2. 7	2. 4	39. 1	18. 9	572	11. 3	2. 4	2. 5	2. 1	47. 2	57. 7	3, 033	
7	6. 6	3.8	2. 7	2. 5	40. 1	17. 3	527	13. 7	4. 0	2. 5	2. 2	43. 7	114. 2	2, 410	
8	4. 1	2. 0	2. 9	2. 7	36. 2	15. 3	500	4. 5	2. 2	2. 7	2. 7	39. 4	55. 8	1, 302	
9	3. 1	1. 7	2. 7	2. 4	36. 3	18. 0	496	5. 9	2. 0	2. 6	2. 0	43. 1	107. 6	2, 708	
10	2. 5	1.0	3. 3	4. 0	35. 5	16. 8	455	3. 8	0.9	3. 0	3. 4	36. 3	86. 5	2, 480	
11	2. 5	0.7	2. 4	1. 7	38. 2	17.8	419	2. 5	0.5	2. 2	1. 3	41. 2	108. 9	2, 421	
12	5. 5	1.7	2. 6	2. 0	34. 5	-	517	11. 4	2. 1	2. 3	1.5	36. 2	- 117.0	4, 122	
13	2. 4	0.8	3. 1	3. 4	28. 9	16. 9	685	1.3	2. 4	2. 7	2. 3	32. 5	117. 8	4, 201	
14	3. 5	1.6	3. 2	3. 9 2. 6	31. 8	17. 3	555 774	3. 4	0.5	3. 0	3. 2	34.8	102. 0	2, 947	
15 16	3. 2	2. 1 0. 9	2. 8 2. 6	2. 0	28. 7 28. 0	20. 7 21. 2	774 747	17. 5 2. 5	3. 8 1. 5	2. 6 2. 4	2. 3 1. 6	33. 0 32. 6	106. 2 168. 2	3, 755 5, 173	
17	4. 7	1.1	2. 0	1. 2	27. 4	21. 2	821	3. 3	0.7	2. 4	1.0	2.4	1.7	6, 418	
18	2. 3	1. 1	2. 1	1. 2	28. 0	19. 2	691	2. 8	1.7	2. 3	1. 4	31. 3	117. 6	4, 337	
19	1. 9	0.9	2. 6	2. 2	30. 1	19. 8	672	2. 0	0.9	2. 5	1. 4	29.8	160. 5	5, 803	
20	3. 3	1.4	3. 1	3. 4	29. 5	17. 8	643	9. 0	4. 7	2. 8	2. 4	36.5	139. 2	4, 305	
21	2. 1	1.0	3. 1	3. 6	32. 5	18. 3	644	4. 3	2. 1	2. 9	2.8	37.3	129. 8	4, 015	
22	4. 1	8.9	2. 4	1. 7	21. 9	17. 1	950	66. 6	7. 2	2.0	1. 1	33. 5	134. 6	4, 680	
23	3. 1	0.5	2. 7	2. 3	29. 1	23. 1	839	2.0	1.4	2. 4	1.6	33. 1	137. 5	4, 405	
24	11. 9	0.8	2.3	1. 3	25. 2	30. 2	1, 084	24. 3	2. 1	1. 9	0. 9	31. 1	156. 5	5, 328	
25	5. 5	1.4	1.9	0. 9	22. 1	27.0	1, 347	18. 2	3. 6	1.7	0.6	30.5	190. 5	6, 843	
26	6. 4	0.9	2.4	1. 7	26. 7	30.0	1, 118	9. 2	1.7	2. 1	1.5	28.8	216. 1	9, 187	
27	6.1	5. 9	3. 2	3. 5	26. 5	24. 0	1, 035	10.4	4. 7	2. 7	2. 2	23. 9	163. 4	7, 543	
28	5.8	2. 1	2.6	1. 9	29.8	20. 4	715	15. 7	1.6	2. 4	1.6	26.3	187. 2	7, 797	
29	8. 7	8.3	2.5	1.8	26.6	24. 4	979	12. 1	5. 4	2. 4	1.4	27.8	192. 5	7, 728	
30	7.0	2.4	2.3	1.4	29. 9	22. 9	743	10.3	1.7	2. 1	1.1	30.0	202. 1	6, 990	
60-29平均	4.3	3. 3	2.7	2. 5	35. 1	24. 3	720	11.2	3. 2	2.5	2.0	38.0	127. 0	4,009	

付表6. 保有数量調査結果(平成30年10月1日時点)

	Цυ.				//							r							
1						29	年		貝					30	年	-	貝		
	渔乜	岛・支所	養殖		販 売	数量		現	在保	有 数 量	Ē.			現	在保存	有数量			
	Tans Da	W ×171	経営体数	稚貝	半成貝	新貝	小 計	施設長	新貝用	成貝用	小 計	施設長	半成貝用	新貝用	成貝用	地まき用		(万枚)	小 計
			(経営体)	(トン)	(トン)	(トン)	(トン)	(m)	(万枚)	(万枚)	(万枚)	(m)	(万枚)	(万枚)	(万枚)	(万枚)	湾内	湾 外	(万枚)
夕	トケ浜		32	0	2, 751	0	2, 751	14, 400	0	21	21	103, 560	7, 237	312	234	0	0	0	7, 782
夕	トケ浜		46	0	6,033	229	6, 262	18, 240	0	289		128, 280	10, 593	329	449	0	0	0	11, 371
	蓬	田村	47	0	5, 255	0	5, 255	2, 200	0	53	53	44, 750	13, 008	0	971	42	0	0	14, 021
	後	潟	31	225	2, 470	0	2, 695	5,600	0	74	74	53, 600	7, 452	0	251	0	0	0	7, 703
		奥 内	44	0	5, 657	0	5, 657	6, 450	0	26	26	177, 450	12, 503	0	39	0	0	0	12, 542
		油川	16	0	2,674	0	2,674	0	0	0	0	56, 900	6, 644	0	55	0	0	0	6, 699
青		青 森	5	0	113	0	113	0	0	0	0	7, 200	372	0	4	0	0	0	375
森		造 道	5	0	174	0	174	0	0	0	0	10,600	681	0	4	0	0	0	685
12/1		原 別	10	0	891	0	891	0	0	0	0	13, 600	2, 558	0	5	0	0	0	2, 564
市		野 内	10	0	427	0	427	1,050	0	15	15	31, 500	1, 416	0	210	0	0	0	1,626
		久栗坂	21	0	1, 697	0	1, 697	4, 950	0	61	61	78, 450	4, 212	0	76	0	0	0	4, 288
		小 計	111	0	11,633	0	11, 633	12, 450	0	102	102	375, 700	28, 386	0	393	0	0	0	28, 779
		土 屋	35	3	2, 798	978	3, 779	300	0	11	11	78, 000	5, 115	2,803	84	0	0	0	8,002
亚		茂浦	56	73	5, 575	899	6, 547	13, 200	0	589		148, 600	5, 763	2,808	1,005	0	0	0	9, 576
1		浦田	79	165	6, 234	2, 226	8, 625	12, 300	0	970	970	212, 300	10, 859	4,624	1, 154	0	0	0	16, 638
内		東田沢	71	0	3, 893	1, 135	5, 028	12,600	0	322	322	272, 300	7, 824	1,661	462	65	0	0	10, 013
町		小 湊	124	0	4, 131	3, 316	7, 447	10,650	0	239	239	340, 950	6, 563	5, 480	861	0	0	0	12, 904
Ι,		清水川	94	0	2, 343	1,864	4, 207	51, 450	0	1, 020	1,020	170, 700	4, 822	2, 722	1, 748	172		0	9, 464
		小 計	459	241	24, 974	10, 418	35, 633	100, 500	0	3, 151	3, 151		40, 947	20, 098	5, 314	237	0	0	66, 596
		辺地町	66	73	290	56	420	74, 050	769	983	1, 752	141, 300	745	751	2, 214	1,638		0	5, 348
	横	浜 町	72	129	99	165	393	162, 400	287	5, 169	· ·	195, 000	347	823	8, 271	0	0	0	9, 441
	むっ市		49	9	1, 220	0	1, 229	30, 600	0	605	605	93, 400	3, 505	0	1, 567	1, 384		0	6, 456
	川 	内町	50	0	125	0	125	75, 600	0	2, 238		•	256	0	3, 919	301		0	4, 476
		野沢村	30	273	246	680	1, 199	13, 800	0	269	269		658	1, 233	289	79	0	717	
1	合	計	993	949	55, 097	11, 549	67, 594	509, 840	1,056	12, 954	14, 010	2, 446, 340	113, 134	23, 546	23, 872	3,681	0	717	164, 949